



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!

本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

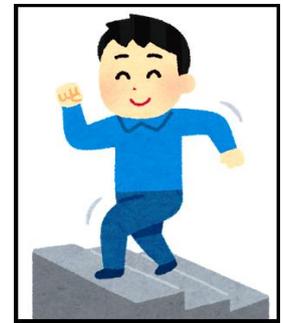
横浜市立本郷小学校
学校学年便り 8・9月号
令和5年8月29日

一段一段の積み重ね「継続は力なり」

校長 瀧田 健二

夏休み中は大きな事故などもなく、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。保護者の皆様には、子どもたちの学習や生活においてご協力をいただき、心より感謝申し上げます。家庭や地域などで、普段できないようなことも体験することができたのではないのでしょうか。

夏休み前朝会で子どもたちに、夏休みは「目標を持って過ごそう。」と話しました。目標を高く持つことは大切なことですが、高いところへ一気に上がることは難しいものです。「3mも高いところへジャンプできる人は誰もいませんが、一段が10cmの高さの階段なら誰でも上ることができます。一段ずつ、10cmずつ小さな目標を立て、30回繰り返せば、3mの高い目標をクリアすることができます。」という話を子どもたちにしたことがあります。継続することが大切です。「継続は力なり」です。



元プロ野球選手で有名なイチロー選手は、日米通算4000本安打達成の大記録を打ち立てました。この大記録を達成したときイチロー選手は、「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」と言っていました。「小さなことを重ねる」ことが如何に大切かを教えてくれる言葉だと思います。

また、継続をしていくためには、もう一つ必要なことがあります。それは「あきらめない」という気持ちです。「あきらめる」という気持ちは、「無理だ」と思うことから芽生えます。現在メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手も「無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。」と言っています。「あきらめずに継続する」ことが一番大切なのです。漫画の話になって恐縮ですが、スラムダンクの安西先生も「最後まで希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ。」という名言を残しています。

夏休みの体験を通して心も体も一回り成長した子どもたちが、今後もいろいろなことに目標を持って積極的にチャレンジし、「小さなことを積み重ねて」大きな目標をクリアできるように、教職員一丸となって子どもたちを指導してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちのますますの成長のために、引き続きご支援いただけましたら幸いです。